

事業の基礎情報

実施主体	戸坂ともいきネット交通支援協議会
事業実施地域	広島市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	商業・農業 ・ 地域・移住
共創パートナー	戸坂連合社会福祉協議会、はと第一交通（株）、広島市、ザ・ビッグ戸坂店
運行形態	①デマンド型乗合タクシー（区域運行） ②道路運送法第21条許可
運行主体	はと第一交通株式会社

現状・課題

（地域交通の現状・課題に関する分析）

広島市では、都市化や高度経済成長による人口増加と宅地需要の高まりに伴い、平地部周辺の丘陵地を中心に住宅団地が数多く開発されたが、こうした団地などでは必ずしも公共交通が充実していない。事業を行う東区戸坂地区においても、駅やバス停から離れた団地等に住む住民がおり、住民の9.4%は公共交通を利用しにくい状況である。また、地区内で令和2年度に実施したアンケートでは、70歳以上の29.5%が「他の交通手段があれば自家用車の運転を止めたい」と回答しており、誰もが利用できる移動手段の確保が喫緊の課題となっている。

当該地区は勾配が10%を超える道路や幅員が狭い道路があることから、既存の交通モードでの移動手段の確保が困難であったことから、令和5年12月からデマンド型乗合タクシーの実験運行を行っている。しかしながら、利用者の固定化などで利用が伸び悩んでいることからヒアリングを実施したところ、「待合環境が不十分」、「予約締切が早い」、「予約が面倒」、「利用方法が良くわからない」といった課題が明らかになってきた。

地域公共交通計画への位置づけ
（位置づけ予定を含む）

有

運輸局・運輸支局への事前相談

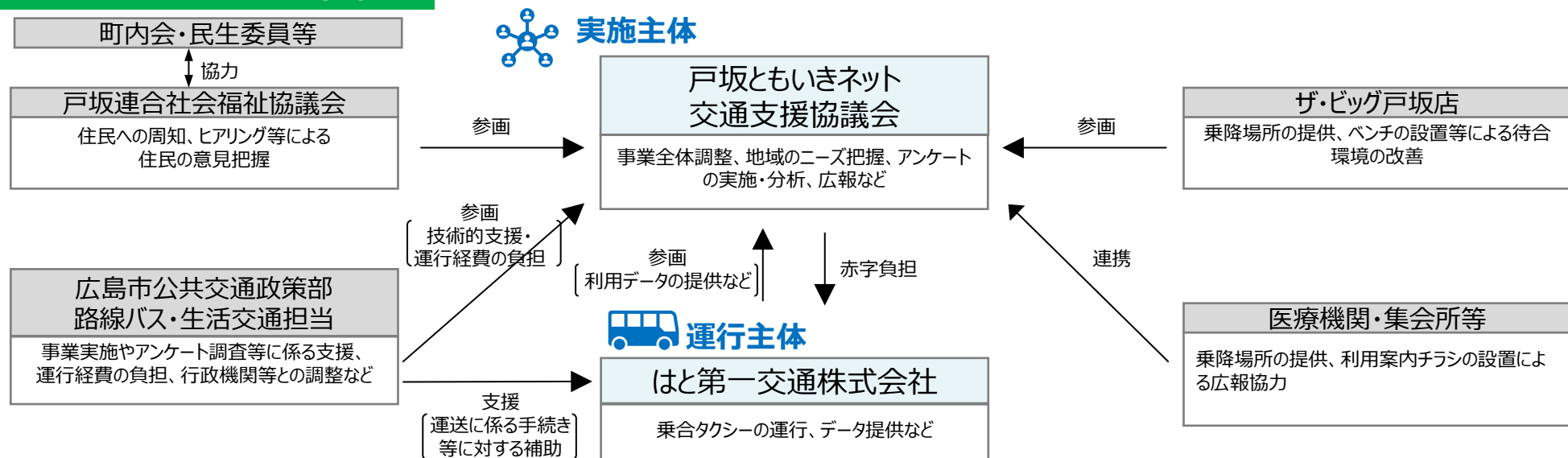
中国運輸局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

—

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

前述の課題を解決するため、地域内で最大の商業施設等と連携して敷地内にベンチを設置するなど待合環境の改善に取り組むとともに、戸坂連合社会福祉協議会が中心となりデマンド型乗合タクシーの利用方法などの周知を図る。また、現在、予約が出発 1 時間前締切となっているため、予約システムを改修し、予約締切時間の変更するなど、利便性が高い移動手段を確保する。

(地域の関係者との連携・協働)

戸坂連合福祉協議会では従前より、地域の全ての人が、「共に」、「生き生き」、「活きる」地域共生社会の実現に向け、地域の事業者や関係機関と連携しながら様々な取組を行っている。そうした社会福祉協議会が中心となって事業を実施することで、地域の商業施設や医療機関等への乗入れや待合環境の改善などに対する協力が得やすくなる。また、行政や交通事業者からの画一的な情報提供と異なり、社会福祉協議会が町内会や民生委員などと協力しながら、地域行事等の機を捉えて利用方法や乗合タクシーの意義などを丁寧に説明することで、利用促進や「乗って残そう」といった機運醸成を図ることが出来る。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

広島市では階層性のあるネットワークの構築に取り組んでいる。郊外部の住宅団地等の公共交通サービスが十分に行き届いていない地域においては、高齢者等の地域住民の誰もが安心して生活し続けられるよう、幹線交通や医療期間・商業施設等の移動手段を確保することが重要であり、広島市では幹線交通を補完する交通サービスとして地域が主体となった乗合タクシー等の生活交通の確保の取組を推進しており、本事業はこうした取組と合致するものである。

事業実施手順・スケジュール

	2024年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
戸坂ともいきネット 交通支援協議会	●応募	●採択	●交付申請	●交付決定					● 実績報告	
はと第一交通㈱					実証運行			→	運行継続(予定)	→
					↑	システム改修	→			
戸坂連合社会福祉 協議会	アンケート実施・分析(交付決定前には自主事業として実施)				↓	広報周知・住民の意見把握	→			
ザ・ビッグ戸坂店					●待合環境整備					
広島市	事務手続等支援(共創MaaS実証プロジェクト関連)								→	
	運行計画の変更や利用状況の分析などに係る支援(随時)									→

取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

高齢化の進展に伴い免許返納に対する社会的要請が強まっている中、内閣府の調査では、免許を返納しない理由として、移動に支障が生じることを第一に挙げられているとともに、返納後の移動手段としてバス等の公共交通機関やタクシーを挙げている。

こうした中、乗合タクシーの運行に係るシステム改修や待合環境の改善を行い、利便性を向上させ、利用者の増加を図ることで持続可能な運行体制を構築し、乗合タクシーの運行を継続して、戸坂地区内の公共交通が利用しにくい人の割合を9.4%から0%にすることによって、自家用車に頼らず誰もが自由に移動可能なまちをつくることが出来る。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

待合環境の提供などについて商業施設などの協力を得ることや、乗降データの分析により乗合タクシーが乗降ポイントである商業施設や医療機関等へ、どれだけ送客しているか可視化することにより、事業者の垣根を越えて地域交通を支える機運を醸成することができる。

また、地域の商業施設などに乗合タクシーを使って外出し、消費活動を行うことによる地域経済の活性化が期待される。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備		通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

- ・運行に伴い発生する収支不足額について、社会福祉協議会などが中心となって構成される地域団体がその一部を負担するとともに、乗合タクシーの運行により施設利用者の移動手段が確保される商業施設等の協力を得る。また、国や広島市（単独費）などの補助を活用することで、運行継続を図る。
- ・地域に密着する社会福祉協議会などにおいて、広報誌や地域の会合などの場を利用して乗合タクシーについて継続的に周知を行い、利用者の増加を図ることで、収支の改善に取り組む。

資金面	広島市：収支不足額の4分の3負担（収支不足額の一部に対して国又は県の補助を活用）、地域団体：収支不足額の4分の1を負担
人材面（運転手の確保）	－